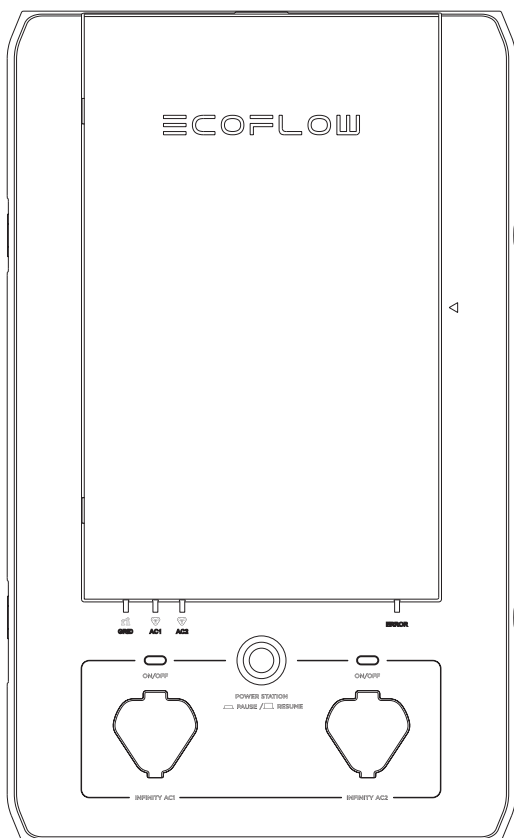


# ≡COFLOW

スマートホームパネル

取扱説明書





## 免責事項

---

安全上の注意、警告メッセージ、利用規約、免責事項をよくお読みください。次の URL (<https://jp.ecoflow.com/pages/privacy-policy>) から利用規約と免責事項を参照してください。また、使用前に製品に貼りつけてあるステッカーを参照してください。ユーザーは、すべての使用方法と操作方法において、全責任を負うものとします。お住まいの地域の関連規制をよくご理解の上ご使用ください。お客様は関連するすべての規制を認識し、また準拠した方法で EcoFlow 製品を使用する責任を有します。

## はじめに

---

EcoFlow スマートホームパネル(以下 SHP)はスマートな負荷側切り替えスイッチです。グリッドモードでは DELTA Pro の急速充電ドッキングステーションとして使用でき、グリッドと家庭用バックアップシステム間で細大 10 個の下流負荷回路を切り替えられます。また、EcoFlow アプリによって、いつでもどこでもこれらの回路を監視して制御できます。

このマニュアルでは、スマートホームパネルの使用方法について説明します。この製品を設置して使用方法については <https://jp.ecoflow.com/> を参照してください。

# 目次

1. 安全上の注意	1
2. 仕様	2
3. はじめに	
3.1 一般的な使用方法	3
3.2 製品詳細	4
3.3 ハードウェア機能	5
3.4 アプリ	6
4. よくある質問	7

# 1. 安全上の注意

1. 本製品は、資格を持つ電気工事が取り付けし、地域の管轄当局による確認を受ける必要があります。
2. 電力の供給がない場合、SHP はデフォルトでグリッドモードになります。負荷回路の通電が安全であることを確認してください。内部故障がある場合は、負荷回路にアクセスしないでください。
3. この製品は、断路のために使用することを意図していません。製品の電源を完全に切るには、上流ブレーカーを開き、すべての DELTA Pro のプラグを抜く必要があります。
4. SHP が通電中にリレーモジュールを取り外すと、コンポーネントが損傷する可能性があります。
5. この製品には AFCI(アーク障害回路遮断器)の機能はありません。
6. すべての上流ブレーカーは GFCI/AFCI 以外のブレーカーである必要があります。GFCI および AFCI 保護は、GFCI/AFCI ブレーカーまたはコンセントを使用して SHP の下流である必要があります。
7. 火や暖房機器などの、熱源の側では使用しないでください。
8. リレーモジュールで大きな異音がある場合は、SHP の下流側で接地の不具合が発生している可能性があります。SHP をリセットして通常どおり使用するには、障害を取り除いてリレーモジュールを交換する必要があります。
9. 住宅エントランス部の短絡電流定格 (SCCR) が 10 kA を超える場合、SHP を使用しないでください。
10. 本製品を屋外や湿気のある場所に取り付けたり、そのような場所で動作させたりしないでください。
11. 極端な温度になる場所に製品を取り付けたり、そのような場所で動作させたりしないでください。
12. 製品が損傷している場合や損傷しているように見える場合は、使用しないでください。
13. 定格電流よりも高い回路ブレーカーにチャンネルを接続しないでください。
14. 分相モードは多分岐回路 (平衡ニュートラルを共有する回路) に使用し、回路は適切に 2 つの相に分割されます。
15. 取り付けおよび使用に関しては地域および国の安全規則をすべて遵守してください。
16. 接地障害 (ブレーカーが作動した状態) が発生したら、今後の安全な動作を確保するため、対応するリレーモジュールを交換する必要があります。
17. この製品は、家庭での使用のみを想定して設計されています。
18. 上流回路ブレーカーは、グリッドモードでのみ SHP を保護します。障害電流遮断機能が 10 kA (4 ms) または 5 kA (8 ms) 以上の回路ブレーカーのみを使用してください。
19. グリッドモードにおけるすべての入力回路の最大合計電流は 160 A です。

SHP は、保守作業前に完全に電源を遮断する必要があります。

SHP の電源をオフにするには、次の手順を実行します。

1. 接続されているすべての上流回路ブレーカーを開き、GRID(グリッド)電源インジケータがオフになっていることを確認します。
2. 両方の DELTA Pro を SHP から取り外し、DELTA Pro の電源インジケータがオフになっていることを確認します。
3. フロントパネルを開いている間は、アラームブザーがオフのままになります。

## ⚠ 危険

1. この装置には複数の電源があります。
2. 電気機器の整備は、認定された担当者のみが行ってください。
3. この装置は、サービスの切断を目的としてとして使用することを意図していません。
4. 電力が失われると、この製品はグリッドモードに自動で戻ります。
5. この装置と下流負荷を電源から遮断するには、すべての上流ブレーカーを開いて、すべての電源ステーションを物理的に取り外す必要があります。

## 2. 仕様

### 製品情報

重量	9 kg (20 ポンド)
寸法	500 mm x 330 mm x 120 mm (19.7 x 11.8 x 4.7 インチ)
据え付け型	ウォールマウント
標準コネクタ	EcoFlow Infinity ポート
保護等級	IP20
保証期間	3 年
制御回路の最大数	10
定格システム電圧	100 V/200 V
定格リレーモジュール電流	15 A、20 A、30 A
DELTA Pro定格出力	最大 6,000 W (2 x 3,000 W)
DELTA Proへの充電入力	最大 6,800 W (2 x 3,400 W)
最大接続バッテリーエネルギー	21.6 kWh (6 x 3.6 kWh)
温度範囲	-20 °C ~ 45 °C (-4 °F ~ 113 °F)

### システム情報

1 Pro 接続	
相	単相 100 V
最大バックアップ電源	3000 W
最大バックアップ電力	10.8kWh
最大ソーラー入力	1600 W

## 2 Pro 接続

相	単相 100 V/分相 200 V
最大バックアップ電源	6000 W
最大バックアップ電力	21.6kWh
最大ソーラー入力	3200 W

## 3. はじめに

### 3.1 一般的な使用方法

スマートホームパネルには、次のいくつかの主要機能があります。

#### 1. 自動電源バックアップ

DELTA Pro と予備バッテリーによって、無停電電源 (UPS) モードは 20 ms 未満で開始します。

#### 2. エネルギースケジューリング機能

EcoFlow アプリによって、接続された DELTA Pro の充電と放電をスケジュールできます。この機能によって、DELTA Pro は AC 結合ソーラーシステムとグリッドと連動し、ソーラーとバッテリーの両システムの投資収益率を向上させられます。

#### 3. エネルギー管理機能

スマートホームパネルでは、家庭で頻繁に使用する最大 10 個の回路を監視して制御できます。エネルギーの使用状況を監視して戦略を適用し、エネルギーコストを削減して停電中の使用可能時間を延長できます。

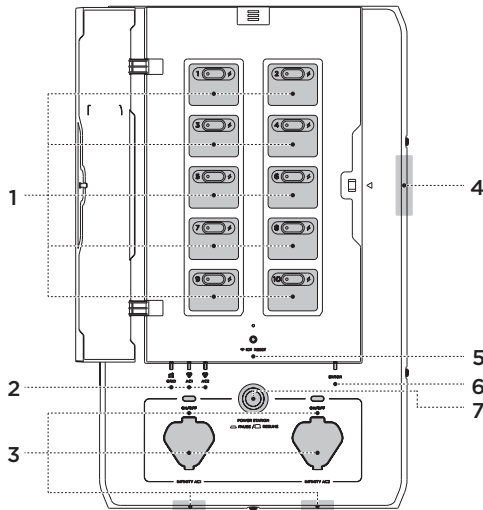
#### 4. DELTA Pro の高速充電ステーション

SHP は、家庭で DELTA Pro の高速充電ステーションとして機能します。DELTA Pro は最大 3400 W で充電できるため、充電に 30 A の回路ブレーカーが使用されます。

#### 5. 統合システムコントロール

EcoFlow アプリによって、すべての EcoFlow アプライアンスが連携して動作し、より強力になり、環境の負荷を大幅に削減できるように監視して制御します。

## 3.2 製品詳細



### 1. 負荷回路制御盤

SHPは10個の負荷回路を制御できます。回路13579は制御盤の左側、246810は右側にあります。回路に過電流による遮断が発生した場合、ボタンによって手動で各回路のリレーをリセットします。回路に不具合がある場合、ボタンのライトが赤色に変わります。いずれかの電源から負荷回路に通電すると、稲妻形のインジケータが点灯します。

### 2. GRID(グリッド)インジケータと INFINITY PORT (INFINITY ポート)インジケータ

SHPには通電インジケータが3つあります(1つはグリッド用、2つはDELTA Pro用)。これらのライトのいずれかが点灯している場合、SHPはその電源から通電されており整備できません。

### 3. INFINITY PORT (INFINITY ポート)と ENABLE (有効化)ボタン

SHPには2つのInfinityポートがあります。ポートは、SHPの底部(デフォルト)または前面のいずれかにあります。これらのInfinityポートとInfinityケーブルを使用して、DELTA ProをSHPに接続します。ケーブルを接続すると、SHPとDELTA Proの接続が確立します。ENABLE(有効化)ボタンを押して、DELTA Proを出力できるようにします。

### 4. パネル開放警報システム

GRID(グリッド)モードでは、製品の電源を完全に遮断せずに前面パネルを開くと、アラームブザーが鳴ります。製品の電源を遮断するには、すべての上流ブレーカーを開いてDELTA Proのプラグを抜く必要があります。

### 5. IOT RESET (IOT リセット)ボタンとインジケータ

このボタンによってBluetoothホットスポットがオンになり、接続できるようになります。5秒間押し続けると、BluetoothとIoTの接続がリセットされます。



## 6. ERROR(エラー)インジケータ

SHP 内部に故障がない場合、ランプは消灯しています。製品に何らかの障害がある場合は、赤色に点灯します。アプリから障害診断レポートを入手したり、カスタマーサポート窓口に連絡してサポートを受けたりできます。

## 7. POWER STATION(電源ステーション) PAUSE/RESUME(一時停止/再開)ボタン

PAUSE(一時停止)ボタンを押すと、10個の負荷回路が物理的に隔離されて DELTA Pro がロックされます。信号は、DELTA Pro に出力電力を停止するように指示します。

## 3.3 ハードウェア機能

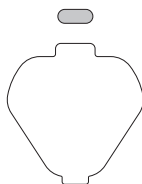
### 電力インジケータ

GRID(グリッド)電源ライトが点灯している場合、SHP にはグリッド電源が給電されています。DELTA Pro のライトが緑色であるが低速で点滅している場合は、DELTA Pro が接続されていても出力の準備ができていないことを示します。ライトが点灯している状態で緑色になると、DELTA Pro は電源出力の準備ができています。



### Power Station(電源ステーション)Enable/Disable(有効化/無効化)ボタン

Infinity ポートによって DELTA Pro を接続したら、ENABLE(有効化)ボタンを1回押して装置を準備します。もう一度押すと、DELTA Pro がスリープモードになります。SHP ENABLE(SHP 有効化)ボタンを3秒間押し続けると、接続されている DELTA Pro の充電が開始されます。



### POWER STATION(電源ステーション) PAUSE/RESUME(一時停止/再開)ボタン

このボタンを押し続けると、DELTA Pro が SHP 出力から電力が切断されます。安全に切断するには、DELTA Pro を SHP から物理的に取り外す必要があります。



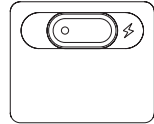
### IOT RESET(IOT リセット)ボタンとライト

通常、このライトはオフになっています。ボタンを1回押すとライトが青色に点滅し、SHP Bluetooth のペアリングが1分間可能です。SHP とペアリングした場合、ライトは青色のままです。Bluetooth 接続をリセットする必要がある場合は、ボタンを5秒間押し続けます。SHP とペアリングされていない場合は、Bluetooth がスリープモードになってランプが消灯します。



## 回路制御

回路制御は、回路インデックス番号、RESET(リセット)ボタン、電源インジケータの3つの部分で構成されています。リセットボタンは、回路に不具合がある場合に回路をリセットするために使用されます。この回路が白色の場合はグリッド電源から、緑色の場合は DELTA Pro から給電されています。稲妻形の電源インジケータは、負荷回路が通電されているかどうかを示します。



## ERROR(エラー)インジケータ

SHP に不具合がなければ、このライトは消灯しています。製品に何らかの不具合がある場合は、赤色に点灯します。障害診断レポートでアプリを確認し、EcoFlow カスタマーサポート窓口にご連絡してサポートを受けてください。



### 注

リレーモジュールで障害が発生した場合、障害の発生したチャンネルだけがデフォルトでグリッドモードに戻ります。その他の障害が発生した場合、すべてのチャンネルがデフォルトでグリッドモードになることがあります。

## 3.4 アプリ

EcoFlow ポータブル電源ステーションと SHP を、リモートで制御して監視します。App Store または Google Play ストアから EcoFlow アプリをダウンロードし、アカウントをセットアップします。

EcoFlow アプリのユーザーガイドを読んで、ダウンロードリンク (<https://jp.ecoflow.com/pages/ecoflow-app>) にアクセスしてください。



## 個人情報保護方針

EcoFlow 製品、アプリ、サービスを使用することで、EcoFlow 利用規約と個人情報保護方針に同意することになります。これらは、EcoFlow アプリ「ユーザー」ページの「概要」セクション、または EcoFlow の公式ウェブサイト (<https://jp.ecoflow.com/pages/privacy-policy>) から入手できます。

## 4. よくある質問

### 1. SHP はソーラーーフシステムに接続できますか？

はい、SHPはAC結合太陽光パネルと連動できます。DC結合太陽光パネルは、正しい出力パラメータを持つポータブルソーラーパネルのみがシステムに接続できます

### 2. SHP は分相 200 V 出力をサポートしていますか？

はい、しています。

### 3. SHP に接続できる DELTA Pro と予備バッテリーの最大数はいくつですか？

最大2つの DELTA Pro と 4 つの追加バッテリーを接続できます。合計出力は 6000 W、容量は 21.6 kWh です。

### 4. 1軒の家で複数のスマートホームパネルを同時に使用できますか？

はい。

### 5. グリッド電源とバックアップ電源を手動で切り替えられますか？

はい。EcoFlow アプリによって切り替えられます。

### 6. SHP はいくつの回線を管理できますか？

SHP は、最大 10 個の単相回線または 5 個の分相回線を管理できます。

### 7. SHP には保護機能がありますか？

はい。グリッドとバックアップの各モードに、リレーベースの過電流保護システムがあります。また、バックアップモードには故障保護のためのヒューズもあります。

### 8. SHP には AFCI 機能が組み込まれていますか？

いいえ。AFCI ブレーカーを収容するには、追加のアクセサリを購入する必要があります。

≡ COFLOW